

金沢労働基準協会ニュース「夏の講習」

講習会は、受講生の頑張りでも夏の暑さにめげず、新型コロナウイルスに負けず、換気とマスクで乗り切りました。

【リスクアセスメント担当者養成講習】を8月31日（月）石川県地場産業振興センター新館5階の第12研修室午前9時から午後5時まで石川県地場産業振興センター新館5階の第12研修室で30名が学びました。新型コロナウイルス対策で定員を3分の1にして3人掛けの机に1人で受講席の間隔を空けました。



午前中の講義、午後は演習問題に取り組むグループワークも距離をとりながら発表まで大変です。



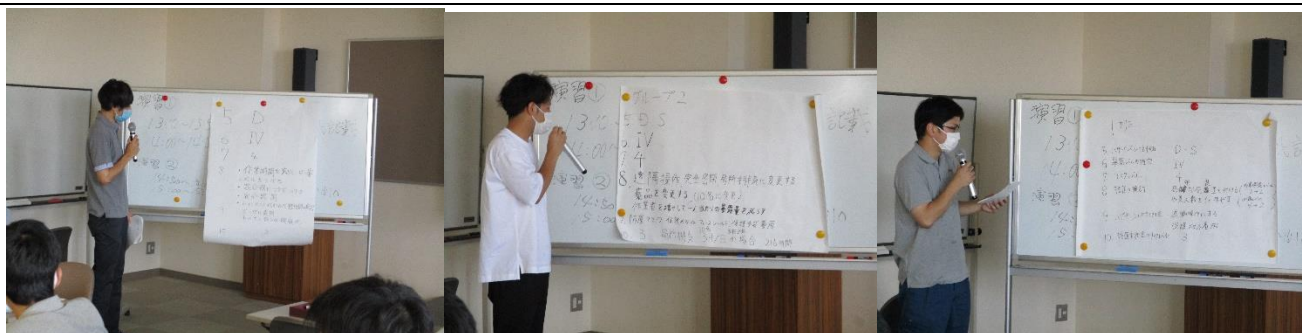
午前中の講義では、「リスクアセスメントの手順」・情報の入手・危険性・有害性等の特定・リスクの見積り・リスク低減対策の立案・リスク低減対策の実施と「リスク除去・低減対策事例」を化学物質のリスクアセスメントも含めて学びました。

午後の演習では、第1の課題が「脚立を使用した看板の取付け作業」のリスクアセスメントです。グループ討議のあと、発表と講師によるポイント説明が行われました。受講生の解答には、電動ドリルのコードの危険をなくするために「コードレスの電動ドリル」を使うという見事な答えがあって、今時を感じました。

演習1:脚立を使用した看板の取付け作業



- ①経験3年の看板屋さんが、高さ1.5mの脚立を使用して、看板(横1.2m、縦0.6m、重さ1kg)を従業員が通る工場外部の壁に取り付けようとしています。
- ②電気ドリルで看板の上からビス止めしようとしています。
- ③脚立は看板設置場所と離れた(約20m)駐車場のトラックから持ってきます。
- ④その他の状況は自由に想定してください。



演習第2の課題が「トルエンの混合器への投入作業」でした。

演習2:トルエンの混合器への投入作業	
1. 会社概要 ①事業内容:化学薬品製造 ②従業員:110名	
2. 作業概要・使用化学物質の情報 ①印刷用インキを製造するために混合する第2種有機溶剤のトルエンを混合機に投入する作業 ②シフト内接触時間 6時間/日 ③作業頻度 6日/月 ④取扱量 400リットル/日 ⑤対象作業員 5名 ⑥換気装置 全体換気装置	
【演習実施事項】 ①リーダー、書記、発表者を決めて、グループで討議する。 ②トルエンのSDS(別紙)から有害性のハザード評価を行い、作業状況から暴露レベル、リスクの見積り、リスク評価、リスク低減対策の検討、対策後のリスクの再見積りを行う。 ③討議結果を模造紙に記載し、グループ毎に発表する。	

最後に、質疑応答があり、理解度テストと受講アンケートを行い、全員に修了証が交付されました。

暑さは、少し和らぎましたが、それでもマスクをしてフェイスシールドを付けて頭をひねるといのは、大変です。受講生の皆さん、講師さまご苦労さまでした。